別添－３（構造物工（橋梁上部工））

ＩＣＴ活用工事（構造物工（橋梁上部工））計画書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄  ※実施項目に☑ | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | | 採用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  | |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  ２．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ３．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ４．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ５．ＴＳ等光波方式を用いた起工測量  ６．ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ７．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  ８．その他の３次元計測技術を用いた起工測量  〔８．を選択した場合の技術名称： 〕 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | | | ※３次元設計データ（ＴＩＮ）形式での作成は必須としない。 |
| □ | ~~③ＩＣＴ建設機械による施工~~ |  | | |  |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理 | □ | 出来形 |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  ２．地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ３．ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  ４．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ５．上記１）、２）、に類似する３次元計測技術を用いた出来形管理  　〔５．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　　　〕 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  | | |  |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（基礎工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプを採用すること。